

社会資本総合整備計画

平成30年2月14日

計画の名称	1 紀の川市都市公園整備計画								
計画の期間	平成24年度～平成27年度（4年間）		交付対象	紀の川市					
計画の目標	<p>国体開催を契機とした施設整備をするとともに、公園施設長寿命化計画の策定により、安全安心な都市公園を提供し、市民等の健康増進や地域コミュニケーションの促進を図る。</p>								
計画の成果目標(定量的指標)	<p>・紀の川市民公園における施設利用者を8.2万人/年から8.5万人に増加する。 ・市民が安心して利用できる都市公園面積を6.0㎡/人から7.2㎡/人に増加する。 ・公園施設長寿命化計画を策定することによりライフサイクルコストの縮減を考慮した長寿命化対策を行う。</p>								
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考			
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	利用者数について、体育館はH25に建設、プールはH27に建設のため中間目標値を設定しない。		
紀の川市民公園における公園施設(有料施設)の利用者数				8.2万人	—	8.5万人			
安心して利用できる都市公園面積 (都市公園面積合計/都市計画区域内人口)				6.0㎡	6.3㎡	7.2㎡			
公園施設長寿命化計画策定率 (公園施設長寿命化計画策定公園数/全都市公園数)				0%	92.3%	100%			
全体事業費 (A+B+C)	合計	3,560百万円	A	3,540百万円	B	C	20百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.6%

事後評価(中間評価)

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期		事後評価(中間評価)の実施時期	
事後評価(中間評価)の実施体制			平成28年度末
定量的指標の目標値と実績値を比較し、効果を確認する。	公表の方法		市ホームページ

交付対象事業

A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	公園	一般	紀の川市	直接	紀の川市	都市公園事業(紀の川市民公園)	体育館、駐車場、トイレ棟、プール、植栽等 7.7ha	紀の川市						3,530	
1-A-2	公園	一般	紀の川市	直接	紀の川市	公園施設長寿命化計画策定調査(紀の川市)	都市公園12箇所(39.9ha)	紀の川市						10	
合計													3,540		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-1	施設整備	一般	紀の川市	直接	紀の川市	公園案内標識等整備事業	案内標識、案内看板	紀の川市						9	
1-C-2	施設整備	一般	紀の川市	直接	紀の川市	公園台帳整備事業	都市公園13箇所(うち1箇所は長寿命化計画を含む)	紀の川市						3	
1-C-3	施設整備	一般	紀の川市	直接	紀の川市	公園安全安心対策事業	都市公園12箇所(39.9ha)、柵、遊具改修等	紀の川市						8	
合計													20		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
1-C-1	都市公園の整備に合わせ、案内標識を設置することにより、都市公園への移動利便性が向上する。														
1-C-2	公園施設長寿命化計画の策定に伴い公園台帳を整備し、円滑に管理が図れる。														
1-C-3	公園設備の安全対策をすることにより安心して利用でき、利用者が増加する。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> 各種施設整備の結果、公園としての魅力が向上し、利用者数が増加した。 各種施設整備および長寿命化計画策定を行なった結果、安全性が向上し、安心して利用できる都市公園面積が増加した。 								
II 定量的指標の達成状況		指標①(紀の川市民公園における公園施設(有料施設)の利用者数)	最終目標値	8.5万人	目標値と実績値に差が出た要因	施設整備により魅力向上が図られたためと考えられる。						
			最終実績値	10.7万人								
		指標②(安心して利用できる都市公園面積)	最終目標値	7.2㎡	目標値と実績値に差が出た要因	実績値が目標値を若干上回ったが、概ね同程度と考えられる。						
			最終実績値	7.6㎡								
		指標③(公園施設長寿命化計画策定率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	-						
			最終実績値	100%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)												
3. 特記事項(今後の方針等)												